

# 瀬戸内の貴重な自然海岸 山口・上関



カンムリウミスズメ 08年に生息が確認された。体長約24センチの海鳥。世界中で日本近海のみで生息し、4千～1万羽。生活のほとんどを海で過ごすため生態になぞが多く、「幼鳥も含めて見つかったのは珍しい」（日本鳥学会）。国指定の天然記念物。  
(写真提供・長島の自然を守る会)



スギモク 全長30～60センチ、日本海沿岸に分布する海藻。瀬戸内海では田ノ浦と姫島のみ分布。水深2センチ前後、砂が堆積(たいせき)するれき地、塩分が低い、など限られた条件下に生息。  
(撮影・新井章吾氏)



カサシャミセン 古生代に栄えた「生きた化石」の腕足類。かさ状の殻を岩に密着させて生息し、大きさは数センチ～1センチ。海水をろ過して餌をこし取る独特の器官を持つ。汚染・汚濁に弱い。  
(日本生態学会中国四国地区会報No.59から)



イワタイゲキ 海岸の岩場に根を張る。関東以西の本州、四国、九州などに生息するが、埋め立てや護岸工事で姿を消しつつある。準絶滅危ぐ種(広島)、絶滅危ぐI類(香川)。



自然海岸が残る建設予定地を案内してくれた高島さん。対岸に見えるのが祝島(田ノ浦湾で)

## 生物多様性壊す原発計画 海の温暖化の危険

山口県の南東に位置する上関町長島。その突端にある田ノ浦湾が埋め立て予定地です。湾を囲む森林はほんのり明るく、薪炭林として利用されてきた典型的な里山です。潮が引いた浜にはいくつもの潮だまりが。埋め立てや護岸工事によって瀬戸内海は、自然

海岸がわずか2割にと。ところが長島の75%は自然海岸のままです。「広島で育ち、上関に来て、こんなにきれいな瀬戸内海があったのかと驚いた」と話すのは、「長島の自然を守る会」代表の高島美登里さんです。「会」や研究者が調査した結果、ほかの地域で

瀬戸内海は多くの川(水)が流れ込むため栄養が豊かで、低塩分・低温という特徴があります。冷水性のイカナゴが育ち、独特の食物連鎖を形づくりました。加藤さんは、「日本は先進国でも随一の海の生物多様性を誇ります。その背景にはこう

今年2月、日本生態学会・日本ベントス(底生生物)学会、日本鳥学会は合同で、国と中国電力に埋め立て工事の一時中断と適正な調査の実施」を求めました。3学会は、2000年からのべ12回に及ぶ要望書を国や中国電力に提出。これは「異例」と政府も認めます。

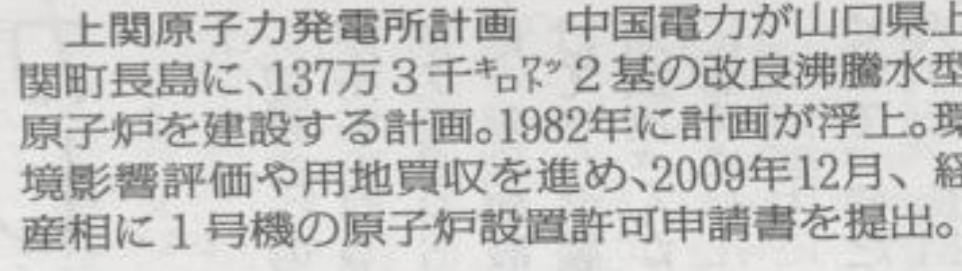
研究者が特に危機感を持つのは、原子力発電所が海に与える影響です。海水を冷却水として取り込み、水温を7度上昇させた温水として吐き出すからです。その量は1カ月間で、水深50センチ、沖合1キロメートル×海岸線10キロメートルの海域の海水を入れ替えるほどの量です。

高島さんは、「不登校の子どもたちが潮だまりで遊んで初めて笑顔を見せてくれました。自然はそんな生きる力を与えてくれます。生物多様性条約締約国会議でモデルになるような地域なのに」と顔を曇らせました。

中国電力が原子力発電所を建設しようとしている山口県上関(かみのせき)町。希少な生物が生息する生物多様性の宝庫(ホットスポット)であることがわかってきています。瀬戸内海の最後の楽園を埋め立てないで」と市民や研究者が声をあげています。

京都大の加藤真教授はその理由を、「上関など周防灘には、自然のままの磯や干潟や藻場が残され、生物多様性が豊かで、水産資源が豊富だった瀬戸内海の原風景が残されているから」と説明します。

上関原子力発電所計画 中国電力が山口県上関町長島に、137万3千平方メートルの改良沸騰水型原子炉を建設する計画。1982年に計画が浮上。環境影響評価や用地買収を進め、2009年12月、経産相に1号機の原子炉設置許可申請書を提出。



鹿兒島大教授の佐藤正典さんは、「閉鎖的な内海にこれほど大量の温水を出し、海を温暖化するだけでなく、発電所のパイプに生物が付着しないよう塩素が投入されます。フランクトンが冷却水と一緒に吸い込まれ、熱と塩素で殺されます。魚介類の子も含まれます」と。予定地では森林を切り開き、陸地部分の造成が急ピッチです。県知事は中国電力に公有水面の埋め立てを許可しました。

### 国会で追及 共産党 市田さん

日本共産党の市田忠義参院議員は4月13日、環境委員会で山口県上関原発の問題を取り上げました。市田議員は「生物学の学会がそろって強い危機感を持っている」「(建設予定地が)国立公園内であり、瀬戸内海環境保全特別措置法の閉鎖性水域内である」として、小沢鋭仁環境相に「生物多様性のホットスポットであるこの海域への原子力発電所は計画を中止し、海洋保護区に指定すべきだ」と求めました。

### 映画にも

予定地の対岸、祝島の漁民たちは28年間、反対し続けています。漁民の暮らしやたたかいを描いた2本の映画が公開されます。「祝(ほうり)の島」(写真、瀬藤あや監督)19日～東京・広島で公開。京都、大阪、名古屋、神戸でも予定。☎03(327)3005 「ミツバチの羽音と地球の回転」(鎌仲ひとみ監督)全国順次上映。☎03(3341)2863